

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成22年10月6日)

[件名]

- 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について ..... 1  
(警務部会計課)
- 「鳥取県地域安全フォーラム2010」の開催について ..... 2  
(生活安全部生活安全企画課)
- 北朝鮮に対する不正輸出事件の検挙について ..... 3  
(警備部警備第一課)

警 察 本 部

## 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成22年10月6日  
警 察 本 部  
(警務部会計課)

### 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(9月24日までに追加実施を決定した事業)      3,025千円

### 2 追加実施事業の内訳

(単位：千円)

事業名	H22年度における雇用創出人数	H22年度執行予定額	事業概要
「全国豊かな海づくり大会」警備対策事務支援事業	1名	868	平成23年秋に予定されている「全国豊かな海づくり大会」の開催に伴い、大会の円滑な実施と警備諸対策に万全を期すため、22年4月に新設された警備部警衛対策課に業務を補助する非常勤職員を配置する。
警察本部情報セキュリティ対策事務支援事業	1名	1,267	警察業務に係る情報を保存した外部記録媒体の不適正な取扱いを防止するため、県警察で使用する全パソコン(約1300台)に、外部記録媒体に出力する際に必須となる自動暗号化ソフトのインストール作業を行う非常勤職員を配置する。
古物営業管理システム入力業務支援事業	1名	890	古物営業の管理を行うシステムの構築に伴い、既存データと許可台帳との照合作業及びシステムへのデータ入力作業を行う非常勤職員を配置する。
計	3名	3,025	

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

## 「鳥取県地域安全フォーラム2010」の開催について

平成22年10月6日  
警察本部  
(生活安全部生活安全企画課)

### 1 開催目的

10月11日(月)から20日(水)までの間実施される「全国地域安全運動」の一環として、県民の自主防犯意識の高揚を目的に開催

### 2 開催日時、場所

- 10月15日(金)午後1時30分から午後4時00分までの間
- 鳥取市尚徳町101-5  
とりぎん文化会館小ホール(約500人収容)

### 3 主催

社団法人鳥取県防犯連合会

### 4 共催

鳥取県警察・鳥取県

### 5 開催内容

- (1) あいさつ
- (2) 表彰

全国防犯協会連合会表彰 他

- (3) 講演

【講師】

立正大学文学部社会学科教授(社会学博士)小宮 信夫 氏  
犯罪社会学専攻、地域安全マップの考案者として全国で技術指導

【演題】

「鳥取県の安全をどう守るか」

- (4) クイズで学ぼう“地域の安全”

鳥取県の犯罪状況をクイズにして警察官と子どもと女性の安全・安心大使  
佐々木えるざさん(2009ミス・ワールド世界大会ファイナリスト)が参加者  
に出題

- (5) 「犯罪が起きにくい社会づくり」宣言

鳥取県防犯パトロール隊「チャンス」

(大学生ボランティア)代表者による宣言



(昨年の開催状況)

- (6) 展示(フリースペース)

防犯対策関連グッズ等の展示

## 北朝鮮に対する不正輸出事件の検挙について

平成22年10月6日

警 察 本 部

(警備部警備第一課)

北朝鮮に対する制裁措置として、平成18年11月15日に奢侈品の輸出禁止措置、平成21年6月18日にはすべての貨物の輸出禁止措置等をそれぞれ講じたところであるが、これらの制裁措置に反して、北朝鮮に不正輸出を行った境港市内所在の貿易会社及び経営者ら2人を外国為替及び外国貿易法違反(以下、「外為法違反」という。)で検挙した。

### 1 捜査本部の設置

平成22年6月30日

### 2 被疑者等

○ 被疑法人

境港市内の貿易会社

○ 被疑者(2人)

同貿易会社の実質経営者(50歳)男性

同社貿易担当従業員(42歳)男性

### 3 事件概要

当該貿易会社で稼働する被疑者らは、共謀の上、同社の利益をを図ることを目的として、

① 平成21年2月24日、奢侈品に該当するピアノ3台を境港から中国大連を迂回して北朝鮮に不正に輸出したもの

※ 7月8日 前記被疑者2人を外為法違反で通常逮捕。翌9日、被疑法人とともに検察庁送致

② 21年10月29日、チョコレート等菓子食品類約9,630キログラムを神戸港から中国大連を迂回して北朝鮮に不正に輸出したもの

※ 9月8日 前記被疑法人及び被疑者2人を外為法違反で追送致

※ 警察捜査に関連して、税関が①及び②を関税法違反(虚偽申告)で検察庁に告発

### 4 その他

制裁後の北朝鮮への不正輸出逮捕事件は全国で4件目。国際海港である境港においては、「人」、「物」等の交流が活発化するなか、不正輸出入事件を始めとする各種不法行為が発生する可能性は否定できない。今後も、税関・入国管理局等関係機関との連携を密にして、不法行為の未然防止を図っていきたい。